

(様式 6 - 1)

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	地域活性化のための景観・まちづくり整備について ～ガーデンツーリズム「宮崎花旅365」の全県展開～
助成事業者	(一財) 日本造園修景協会宮崎県支部
代表者	支部長 黒田 博司
<p>(目的)</p> <p>岩切章太郎氏の「大地に絵を描く」「自然の美・人工の美・人情の美」の理念のもと、本県は「全県公園化」や「沿道修景」など豊かな自然を生かした景観づくりに取り組んできた結果、全国に誇れるグリーンインフラを有している。</p> <p>一方、それを支える予算や人材に限りのある中で、今後そのストック効果を継続的に発揮させることはもちろん、本県の『「新しい」ゆたかさ』の実現に向け、グリーンインフラの新しい価値や魅力を創造していくことが求められている。</p> <p>このような中で、先人達が残したグリーンインフラやこれまでの取組が評価され、国土交通省が提唱する複数の庭園の連携により魅力的な体験や交流を創出するガーデンツーリズム登録制度に「宮崎花旅365」(宮崎市)が西日本唯一選ばれた。この登録は本県の魅力を国内外にPRする絶好のチャンスである。</p> <p>本研究は、ガーデンツーリズムの全県展開を目指した『ア 宮崎駅前の高千穂通りをモデルケースに世界的な知見を取り入れた「みやざきスタイル花壇デザイン」の研究』や『イ「みやざきスタイル花壇デザイン」の他地域への普及』を通じて、地域活性化につながる景観・まちづくりに挑戦する。</p>	
<p>(概要)</p> <p>研究1年目(昨年度)に実施したナチュラルスティック・プランティング(自然を再現したような植栽)の試験植栽の結果を、四季を通して検証するため、定期的(月2回)に植物管理・観察活動を行った。</p> <p>また、花をきっかけに街中で仲間と活動・交流できる機会を増やすことで地域活性化(街中に「にぎわい」)を目指し、昨年度に引き続き、高千穂通りの企業や住民等に参加を呼びかけたチューリップ植栽イベント(チューリップ球根やいろんな植物をみんなで植えようよ!)を11月に開催するとともに、定期的な植物管理・観察活動についてもボランティアを募集して実施した。</p> <p>今年度の研究の結果、宿根草等の植物の生育データが蓄積できたとともに、高千穂通り沿いの店舗の方との交流やボランティア活動への参加などを通じて新たな交流が生まれはじめている</p> <p>次年度は、収集した生育データを元に他地域でも転用できる事例集(ノウハウ等)の作成、通り沿いの企業や住民へのアンケートなどを実施することにより、3年間の研究成果を取りまとめる。</p>	